

別府史談総目次

創刊号

創刊にあたって
宇佐八幡と別府
別府の行政事情（明治初期）
「諸用留」・「家宝珍事記」の時代
古代の別府と朱
ヒゲコという名のカゴ
地頭竈門氏について
西国筋郡代昇格（文書解説）
展墓吉弘神社神（漢詩）
局観音の由来について
一通の手紙と武家不断枕

第二号

鶴見由布をめぐる神々
別府の行政事情（明治初期）
内籬の古墳と観音堂（手島家墓地）
別府の饅絵
銭瓶石騒動始末
「八百屋お七」盆踊り口説
八幡朝見神社の神楽記録について
久留島藩鶴見村の産業

豊田 文一
中野 幡能
大野 保治
入江 秀利
佐藤 曉
日名子洋一
土屋 公照
入江 秀利
竹長 善一
矢田 保
安部 和也
富来 隆
大野 保治
相良 範子
藤田 洋三
入江 秀利
竹長 賢治
小玉 洋美
安部 作男

第三号

別府大庄屋初代堀助之丞について
ふるき旅館
安浪と安波
大友本陣の歌
竈門荘の荘域
鶴見嶽行常寺大勝院のこと

景行の豊後進攻と速津媛の奉迎
別府の行政事情（明治初期）
土石流に埋もれた久光島
ボスポール（えせ役人事件）
竈門又太郎貞継道善
火男日売神社の事
豊後浄瑠璃への挑戦
虚子と祖母ノブ
鈴木主水白糸口説
安政の大地震（史料紹介）
明治初年の農民蜂起（文書解説）

第四号

人（ひと）と言葉（ことば）
別府の行政事情（明治初期）
別府で開かれた「九州小安居」
名勝解説「別府温泉地獄巡り」

安部 和也
漆原 辰雄
安波 利一
平 次郎
土屋 公照
佐藤 曉
富来 隆
大野 保治
佐藤 曉
入江 秀利
土屋 公照
佐藤 作男
河野 清文
安波 利一
安波 利一
安部 和也
入江 秀利
富来 隆
大野 保治
佐藤 嘉一
星野 純郎

新開ハ御免蒙候(文書解読)

別府を西南戦争の戦火より守った五人

我が家の宝塔

それらしきこと 夢二と別府

別府末行遺蹟の銅鐸型土製品

日韓交流今昔

菊舎尼と別府

別府の伝説 鎮西八郎為朝と別府

別府繁昌記(大阪毎日新聞)

第五号

明治維新と大分県

言葉と地名 鶴見・石垣原をめぐる

別府の行政事情(明治前期)

日露戦争当時の別府町の稲作指導

地獄の噴気を利用した食物

豊後明礬考 明礬會所設立まで

小倉藩人畜改帳について

別府の市街地における杯状穴

石垣原合戦の史蹟について

「ふいが城」(発掘記録より)

鉄輪方面修学旅行の記(明治杵築中学)

照湯に関する史料

別府の伝説 悲しい女の性

別府温泉繁昌記

第六号

別府のタタラ文化

別府の行政事情

大友氏時について

元禄箆器と古語への夢

別府の歌物語り

「石垣原合戦日記」(古屋文書)

豊後明礬考 天保の改革と明礬會所

梨子地桐鳳凰中高蒔絵弓を得て

住吉様のお祭り(祭研究同人)

別府の伝説 聖の念力

別府温泉繁昌記

豊後国速見郡村誌(抄)

第七号

トビと太陽とエビス様

寛永キリシタン塔

別府の行政事情(明治後期一)

大谷光瑞鏡如上人について

横灘文人庄屋列傳(幕末の庄屋たち)

別府市美術館と名作の周辺

別府における石器人

松井文書「立石一件」について

天明大飢饉の口傳について

井上馨侯別府潜伏とその前後

富来 隆

大野 保治

矢嶋 嗣久

日名子 洋一

後藤 武夫

安部 和也

入江 秀利

相良 範子

入江 秀利

堀藤 吉郎

富来 隆

藤内 喜六

大野 保治

矢嶋 嗣久

入江 秀利

江藤 明

安部 和也

佐藤 曉

相良 範子

長谷部 吉貞

多賀神社のこと

朝見八幡様のお祭り(祭研究同人)

「与十秀浦心中」盆踊口説

別府の伝説 霊泉・霊湯

別府温泉繁昌記

第八号

別府の米騒動

中浜地蔵尊の建立

鍛冶文化の変容

別府の行政事情(明治後期)

キリシタン塔

高岸源太郎と料亭「なるみ」について

鶴見村大庄屋直江氏について

エンヤンドッソーの掛け声が消えた

八幡竈門神社のお祭り

豊後明礬開発の史料

「別府が、好きに」(市内歴史探訪記)

別府温泉繁昌記

別府の伝説 怪力・鬼

史料 函海漁談

蝶斎起友著 「温泉めぐり」

土屋 公照

入江 秀利

堀藤 勉

菊池 吉郎

菊池 幽芳

三重野 勝人

安部 和也

富来 隆

大野 保治

藤内 喜六

矢島 嗣久

後藤 武夫

入江 秀利

土屋 公照

佐藤 暁

国広 清光

菊池 幽芳

堀 藤吉郎

脇 蘭室

佐藤 勉

第九号

佐藤慶太郎と別府

よみがえれ公会堂

鼠の石窟と土蜘蛛

別府の行政事情 別府・浜脇町の合併

間宮英宗の来別に関して

第一回国勢調査と別府

大友持直について

赤米と薩摩芋

別府の秋葉神社考

立石天満宮の「すぼふり」

別府歴史散歩 北石垣の西域コース

別府の伝説 動物アラカルト

別府温泉繁昌記

史料 石垣原の戦闘(一)

在郷軍人会大分支部

江藤 明

星野 純郎

大塚 俊英

富来 隆

大野 保治

佐藤 嘉一

小玉 洋美

矢島 嗣久

入江 秀利

安部 和也

伊東 英俊

日名子 洋一

堀 藤吉郎

菊池 幽芳

大友 信也

松岡 実

富来 隆

大野 保治

相良 範子

佐藤 嘉一

大塚 俊英

第十号

ウィルスで追う民族移動

盆の庭入りとバンパ踊り

「鬼の岩窟」と、鉄と、聖地

別府の行政事情(行政年表)

ローマ法王様訪問記

斎藤茂吉、中村憲吉の来別

別府を訪れた文化人たち

別府と毛利空桑

吉弘嘉兵衛統幸について

萩屋ものがたり

別府歴史散歩 伝説と棚田の里・内成

石垣原の戦闘(一)

在郷軍人会大分支部

安部 和也

矢島 嗣久

入江 秀利

なお、創刊号を除く各号は在庫がありますので、事務局にお知らせください。いづれも一冊・送料とも九百円です(会員価格)。

別府史談会に入会を希望されるかたはいつでも入会ができます。知人やご近所の方に入会をおすすめください。年会費は、二、五〇〇円です。

お申し込みは、

事務局 別府市緑丘町四組

入江 秀利(電話)三・〇〇二九)

会員の「別府史談」へのご投稿は、ご自分の論考を活字にし、発表できるチャンスです。是非ご利用ください。

別府市の歴史や民俗に関するもので

研究論文・随筆・随想・史料の紹介

郷土の民間伝承・伝説・昔話・里うた

郷土の民間信仰・神社寺院の縁起

など、会員の皆様のご投稿をお待ちしています。

編集後記

- ・何事も十周年が一つの目安であり、また一つの区切りでもあります。それにしても別府史談会も遥々来たものだとつくづく思われます。頼りにしていた安部徹、藤内喜六両先輩は、あまりにも早く逝かれ、残された我々若輩は担いきれない重荷を背負って、しゃにむに歩いてきたような気がします。創立当初に比べると、会員は三分の二に落ち着きましたが、皆様のご協力や、叱咤激励のおかげで、次第に充実した活動が出来るようになったのではないかと、自負しております。
- ・富来先生からは、今回もユニークなお考えを提示していただきました。毎回楽しみに待っている方も多いと思います。わざわざ「幸若舞」の百合若大臣説話と「百合若説教」を原文でご紹介されて、物語のおもしろさを肌で感じさせてくださいました。同時に、思想や文物の伝播や説話が次第にカリスマ化、カルト化されていく一つの文化の型を示されました。先生の「推理考現学」の新しいお考えが「別府史談」より発信できるのではないのでしょうか。
- ・今回から「忘れられた遺跡の発掘」を続けたいと思います。身近なところにたたずむ「昔」がありましたら、是非事務局まで報せてください。
- ・方々の歴史好きが集まる会合で、「別府史談会」の事を初めて聞いて、問い合わせに来て人がいます。十年もたっているのに？と思うことがときどきあります。また、年会費が一回の散髪代よりもやすいの？と驚かれる人もいます。
- ・歴史探訪会、来年はどこに行きますか。適当なところがありましたらお知らせください。